

ビワ生育情報

千葉県
令和元年6月号

令和元年5月の気象

令和元年5月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第1～第3半旬はほぼ平年並み、第4～6半旬は平年よりやや高めに推移した。月平均気温は18.4℃で、平年より0.7℃高く、前年より0.3℃低かった。

降水量は、第2、第4半旬はほとんど降雨がなく、第3半旬は平年より少なく、第6半旬はほぼ平年並み、第1、第5半旬は平年より多かった。月合計は158mmで、平年の91%、前年の69%であった。

日照時間は、第1、第3半旬は平年並みで、他は平年より多かった。月合計は235時間で、平年の133%、前年の116%であった。

表1 令和元年5月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	16.8	16.6	19.0	40	22	21	34	30	42
2	16.9	17.3	14.9	2	26	110	40	28	18
3	17.4	17.5	18.7	19	38	35	24	27	49
4	18.7	17.8	19.9	0	25	0	42	28	41
5	19.9	18.4	18.8	69	32	36	51	29	37
6	21.1	18.8	20.6	28	31	28	44	35	16
平均/計	18.4	17.7	18.7	158	174	229	235	177	203

7月の作業（果実の発育は次ページ）

7月に入ると梅雨も明け、本格的な夏を迎える。収穫後に弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておくこと、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また、食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので、注意を要する。成虫は産卵のために、7～8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。卵は見つけ次第つぶす。防除に際しては千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径を表2に示した。横径は、「楠」が4.87cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均がそれぞれ5.59cm、5.50cmであった。本年の横径は、6月1日時点では3品種とも平年より大きかった。縦径は、「楠」が4.44cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均がそれぞれ5.36cm、4.88cmであった。本年の縦径は、6月1日時点では「楠」及び「田中」は平年より小さく、「大房」は平年より大きかった。

果形指数は、「楠」が1.10、「大房」及び「田中」では3地区の平均がそれぞれ1.04、1.13であった。3品種とも平年より横長傾向であった。

着色程度は、「楠」が3.8、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ3.8、2.4で、着色の進みは3品種共に平年より早く、「楠」及び「大房」はほぼ完全着色であった。

暖地園芸研究所では早生品種の収穫は5月下旬から始まり、「楠」及び「大房」は5月31日、「田中」は6月3日に始まった。本年は開花が早く、4月の平均気温は低温だったものの5月の平均気温は平年よりも高かった結果、収穫期は3品種共に平年より早い。

本年は平年に比べ、着花房率が高く、寒害を被った幼果は少なかったため、着果量は平年より多く果実は大玉傾向である。病害虫では、クワゴマダラヒトリの発生は平年よりやや少なく、果実の被害程度も平年よりやや少なく、果樹カメムシ類の被害は現時点では少ない。がんしゅ病の発生はややみられる。以上のことから、最終的な収量は平年より多いと予想される。

果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で中発生年と同様の傾向を示すため、今後の発生予察情報を参考にす。カメムシの発生が多くみられ、収穫が終了していない園では薬剤防除を検討する。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（6月1日の果径及び着色程度）

品 種	調 査 地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数			着色程度		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	4.87	4.43	4.43	4.44	4.76	4.70	1.10	0.93	0.94	3.8	3.1	3.8
	青 木	5.21	4.97	4.80	5.23	5.12	5.09	1.00	0.97	0.94	3.8	3.0	3.8
	大 房	5.72	5.01	5.08	5.42	5.19	5.60	1.06	0.97	0.91	3.8	3.2	3.8
	暖地園研	5.83	5.05	5.10	5.44	5.13	5.48	1.07	0.97	0.93	3.8	3.0	3.7
	平 均	5.59	4.99	4.99	5.36	5.15	5.39	1.04	0.97	0.93	3.8	3.1	3.8
田 中	青 木	5.53	4.45	4.61	5.05	4.95	5.09	1.10	0.90	0.90	2.5	1.8	2.7
	大 房	5.43	4.41	4.83	4.47	4.94	5.24	1.15	0.90	0.92	1.9	1.9	2.8
	暖地園研	5.55	4.53	4.83	4.84	4.98	5.25	1.15	0.91	0.92	2.8	1.8	2.9
	平 均	5.50	4.47	4.75	4.88	4.95	5.19	1.13	0.90	0.91	2.4	1.8	2.8

注) 果形指数：横径／縦径

着色程度：1(未着色)、2(黄白色)、3(淡橙黄色)、4(橙黄色)、5(濃橙黄色)

平年：横径、縦径、果形指数は平成元年年～平成30年の30年間の平均、着色程度は平成11年～平成30年の20年間の平均。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>